

# 第37回〈ケア〉を考える会-岡山

■日時： **2018年2月3日(土)** 14:00~16:30

■会場：川崎医療福祉大学 本館6階6001演習室

[http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/access/index.php/\\*](http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/access/index.php/*)

※建物の1階(防災センター)から備え付けのスリッパに履き替えてお上がり下さい。

駐車場は、福祉大学の職員・学生駐車場(病院とは道をはさんで北側)が利用できます(1時間100円)。

■会費：無料。どなたでも参加できます。初参加歓迎。申込不要、直接会場にお越しください。



## ■内容

# 「摂食嚥下障害について

## ～管理栄養士の立場から～」

報告： **清水 昭雄** さん (管理栄養士)

清水さんとは「日本リハビリテーション栄養研究会」(現在は「日本リハビリテーション栄養学会」)でお会いしました。岡山の病院に勤める若く情熱的な管理栄養士さんで、人を引きつける魅力を持った方です。最初の出会いは7年ほど前の京都で、僕が京都から岡山へ帰ろうかと思っている時でした。当時、僕は「食べられなくなったらどうするの」「胃ろうの“哲学”が必要」などと考えていて、そうした課題に、この研究会は医師、歯科医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、およびその他医療・介護職が多職種連携で取り組んでいました。清水さんたちが眩しく見えました。▼彼はその後も研究や実践を重ね、病院勤務のかたわら県立広島大学大学院で「嚥下障害患者の栄養管理」を研究し、それらの成果をもって、この4月からは浜松市リハビリテーション病院に勤務することになっています。▼岡山県を離れる前に、彼の中心課題でもある「摂食嚥下障害」について是非とも話を聞きたいと思いました。清水さんの話を伺って、参加者で対話します。ワクワクします。別れは寂しいですが。(林道也)



■問い合わせ：[884michiya@gmail.com](mailto:884michiya@gmail.com) 090-5366-1497 (林)



## 「〈ケア〉を考える会-岡山」とは……

▼岡山(倉敷)で、〈ケア〉について学び考えています。

〈ケア〉といえば、「看護」「介護」「支援」「世話」などが頭に浮かびます。超高齢社会を生きる私たちにとって、切実な課題の一つです。そして、〈ケア〉は、もっと広く捉えることもできます。たとえば広井良典氏は、ケアを「人と人との間の『関係性』という意味に理解してみたい」と述べ、さらに、個人がコミュニティや自然などとつながっていくような方向でもケアを考えます。「『ケアの哲学』とでもいうようなものが必要」とも言っています。また、鷲田清一氏は「臨床哲学」の重要テーマの一つに「ケア論」を置き、「ケア」の奥深さをさまざまに説いています。それに、「死生観」、「生」と「死」について、リビングウィル、終末期医療も、〈ケア〉を抜きには考えられません。

この会では、〈ケア〉について、身近なところから理念的なものまで、そして、狭い意味からから広い意味まで、幅広く深く考えていきます。

▼この会の参加者は、医療・看護・介護・福祉・教育などの現場、または地域や家庭などで〈ケア〉に関わっている方、大学や学校で〈ケア〉の教育・研究に携わる方や学んでいる方、さらに、その他、〈ケア〉に関心や関係のある方などです。〈ケア〉に関わる人たちが学び交流することで、明日からの力を得る「場」となることを願います。この会は参加者の“つながり”を大切にします。

※ ホームページ ⇒ <http://okayama-care.jimdo.com/>

